

隼工新聞

学校活動
紹介通信
2020
1月号

三学期始業式

一月八日、三学期の始業式が行なわれまし
た。修学旅行や卒業考査、卒業式と、今年度
を締めくくると三学期が始まりました。



もうすぐ、修学旅行

一月十五日、二年生を対象に修学旅行の事前
統一LHRが行われました。今年度は一月二
十八日から三十一日に関東地区を中心に実施
され、都内でコース別研修、新潟でのスキー
教室、東京デイズリゾート訪問、科別研
修等が予定されています。
すてきな思い出をたくさん作りましょう。



昨年度の修学旅行より



学校行事あれこれ 生徒会認証式

十二月二日、一・二年
生中心とした新生徒会
役員の承認式が行われ
ました。一年間、本校の
様々な場面で活躍が期
待されます。



生徒会長
猿渡孝太郎 (二J)
生徒会副会長
小野 聖 (二R一)
書記
石田 旭 (二I)
会計
上福元 翔 (二R二)

前生徒会長 濱田源太



新生徒会長 猿渡幸太郎



二学期クラスマッチ クラスマッチが開催され、各競技で熱戦を 繰り広げました。



第二回 避難訓練

十二月十七日、今
年度二回目となる避難訓練が実施されました。
今回は地震発生を知らせる緊急地震速報を
受けて避難する地震発生時の訓練と、本校地歴
公民科の伊地知教諭による講話がありました。
内容は東日本大震災発生後に参加した災害ボ
ランティア活動に関するものでした。
日頃から防災意識を持つて生活しましょう。



表彰伝達式

十二月二十四日、二学期終業式で表彰伝達
式が行われました。

霧島市民表彰

上村大心 (三R一)
少林寺流空手道競技全国ベスト8
楠木あみ (三一I) 弓道競技全国大会優勝

第二十六回鹿児島県高校写真展



高文連賞 榎田雄斗 (2R1)
テーマ 「夕暮れ時」



写真専門部賞 坂元玲岳 (1R1)
テーマ 「はいっ、元気です！」

鹿児島県民俗芸能活動

奨励賞 東久保弥正 (二I)

第七十回鹿児島県高校美術展

デザイン部門 優秀賞 平田藤乃 (二I)
工芸部門 秀作賞 梶原佳那 (三一I)
奨励賞 楠木あみ・阪本和志・宮園晃成 (三一I)

生徒のことば

「三年間を振り返って」

電子機械科三年 原口旺治郎

私は、入学当初、隼人工業高校に誇りを持
てなかった。なぜなら、楽しくなかったから
だ。そんな中、継続してきたことがある。そ
れは「評定五」をとるとのことだ。これは、
一年生から意識してきたことで、一つの教
科に偏るのではなく、全ての教科八十点以上
を修めることを目標に取り組んできた。三年
間取り組む中で、全てとはいかなかったが、
目標に近い結果を残すことができた。
部活動では野球部に所属し、副主将を務め
させてもらった。いろいろなことを経験した
が、一番に責任の重さを感じ、その大切さを
学ぶことができた。先輩方がいた時には気づ
かなかった一つの指示や判断の責任、や
ってみなければ分からないことばかりで、苦
しい事の方が多かったが、自分を見つめ直す
転機であり、自己肯定感が生まれた、人生の
分岐点になったと思う。この経験が体育大会
に生かされたと思う。一、二年生の時は、応
援団すらしたことはなく、ほとんどがゼロか
らのスタートで、分からないことばかりだっ
た。しかし、最後まで迷いなく突き進むこと
ができた。それには周りの人の支えや、信じ
てついてきてくれたことに心の底から感謝し
ている。

このような経験が進路実現に向けての自分
の力になった。面接試験でも落ちついて取り
組むことができ、質問に対しては、答えを考
えなくても浮かんできた。筆記試験について
も、一年生の時から意識して勉強してきたお
陰もあり、いつも通り、自信を持って受験す
ることができた。

今考えると、高校三年間の全てが、進路実
現に向けた準備だった。最初は、隼人工業高
校に誇りも楽しさも感じる事ができず、他
人のせいにして、楽しくないと言っているだ
けで、何も行動しなかった。でも、今は違
う。挑戦し、充実した高校生活を送ることで
楽しさを知り、誇りを持っている。

これから私は社会に出る。苦しい事が多く
なる時もあるかもしれないが、充実した楽し
さを求め、上を目指し、自分の生き方に誇り
を持てるよう行動していきたいと思う。

新年明けましておめでとうございます。隼人工業高校が尚一層飛躍する一年になるよう、「ONE TEAM」で臨みましょう。3年生は卒業間近。卒業考査に向けて頑張りましょう。

学校の旬を伝える
隼工新聞

制作：教務部広報渉外係